

英語学徒は生成 AI とどう向き合うのか？

—認知言語学からの提案—

急速なグローバル化に波に押されて英語学習（教育）の重要性が叫ばれている。非日本語話者との日常的なコミュニケーションの必要性が急速に高まっているからである。そしてその点に限って言えば、英語系の学部学科は社会からの要請にそれなりに応えてきたといえる。ところが、皮肉にも、英語コミュニケーションの重要性が叫ばれるまさにその同じ理由から伝統的な英米文学や英語学の教育に批判の目が向けられてきたのも事実である。これらの教育は学習者の運用力向上にほとんど寄与しないというのである。しかしながら、このような状況は生成 AI の急速な発展に伴い劇的に変わった。旧約聖書のバベルの塔の物語に代表される“言語の壁”が取り払われるかもしれないからである。コミュニケーションだけが英語を学ぶ理由であるのならば、もう苦勞して英語を学習する必要はない。スマホが一台あれば身振り手振りの片言日本人英語よりもずっと深いコミュニケーションがとれる時代が到来したのである。そしてこのことは、英語学習（教育）にコミュニケーション以外の意義を見出し主張していかない限り、英文科を含めた英語関連産業全体が少なからず衰退していくことを意味している。

本発表では、このような現状を踏まえたうえで、今後、英語の習得、研究、教育に従事する英語学徒がどのようにして生成 AI と向き合っていくらよいかを、特に、認知言語学の立場から考えたい。認知言語学では、言語と文化、思考は不可分の関係にあると考える。そしてそこにこそ英語を学習（教育）する意義が潜んでいるのである。